

模擬試験の活用方法

- ・ 場慣れ
- ・ 模試受験時点で未学習の科目・分野があっても受験を
- ・ 模試受験時点までに学習した科目の出来不出来の確認
- ・ 次回模試に向けた課題設定
- ・ 時間配分や解く順番の確認
- ・ 評価を気にし過ぎない
- ・ 徹底的に復習する（特に正答率が 60%以上の問題＋解いている最中に気付いた箇所）

2月から3月の学習計画

パターン1：学習進度が早い方

- ・ 主要科目（数的、民法、ミクロ、マクロ）は引き続き継続
 - 数的処理・・・1日の問題数を決めて毎日反復
 - 民法・・・V問の反復＋発展講義受講
 - ミクロ、マクロ・・・V問の反復＋講義ノートで不安箇所解消
- ・ 憲法（模試までにV問1周）
- ・ 行政法・・・講義ノートを見ながらV問
- ・ 財政学・・・講義＋V問
- ・ 行政学・・・講義（＋V問） テキストの通読中心
- ・ 経営学、政治学、社会学・・・テキストまたは講義ノートの精読（時間があればV問も）
- ・ 人文科学・・・講義ノート（音声）

パターン2：主要科目の反復が充分でない方

2月

- ・ 数的処理・・・学習時間を決めて毎日問題を解く（1分考えてもわからない問題は質問へ）
- ・ 民法・・・講義→該当範囲のV問
- ・ ミクロ、マクロ・・・講義ノートの復習→V問
- ・ 憲法・・・web講義2倍速でテキストを見直し、V問を解く
- ・ 行政法・・・講義→該当範囲のV問
- ・ 財政学・・・講義＋V問題集

3月以降

- ・ 経営学、政治学、行政学、社会学・・・テキストまたは講義ノートの精読（時間があればV問も）

3月から4月の1日のスケジュール例

数的処理 2 時間

憲法 1 時間

行政法 30 分

民法（上下） 1 時間

ミクロ経済学 30 分

マクロ経済学 30 分

政治学 1 時間

経営学 1 時間

自然科学 1 時間

人文科学（地理、思想） 1 時間

人文科学（世界史、日本史）は音声を移動中等に聴く

財政学、行政学はそれぞれ 30 分を週に 3 日のペースで続ける

時事は週に 1 回 1.5 時間のペースで続ける

5月から6月の1日のスケジュール例

3月から4月の内容を継続しつつ、テキストまたは講義ノートで最終チェックも行う

発展講義について

- ・法律系：全 4 回（憲法 1 回、民法 2 回、行政法 1 回）を受講
- ・政治系：全 5 回（政治学、社会学、経営学、行政学、国際関係）のうち、本番で使う科目のみ受講
- ・経済系：余裕がある場合、教材のみ受け取り、解き進める

面接対策

- ・各種説明会に参加する
- ・裁判傍聴